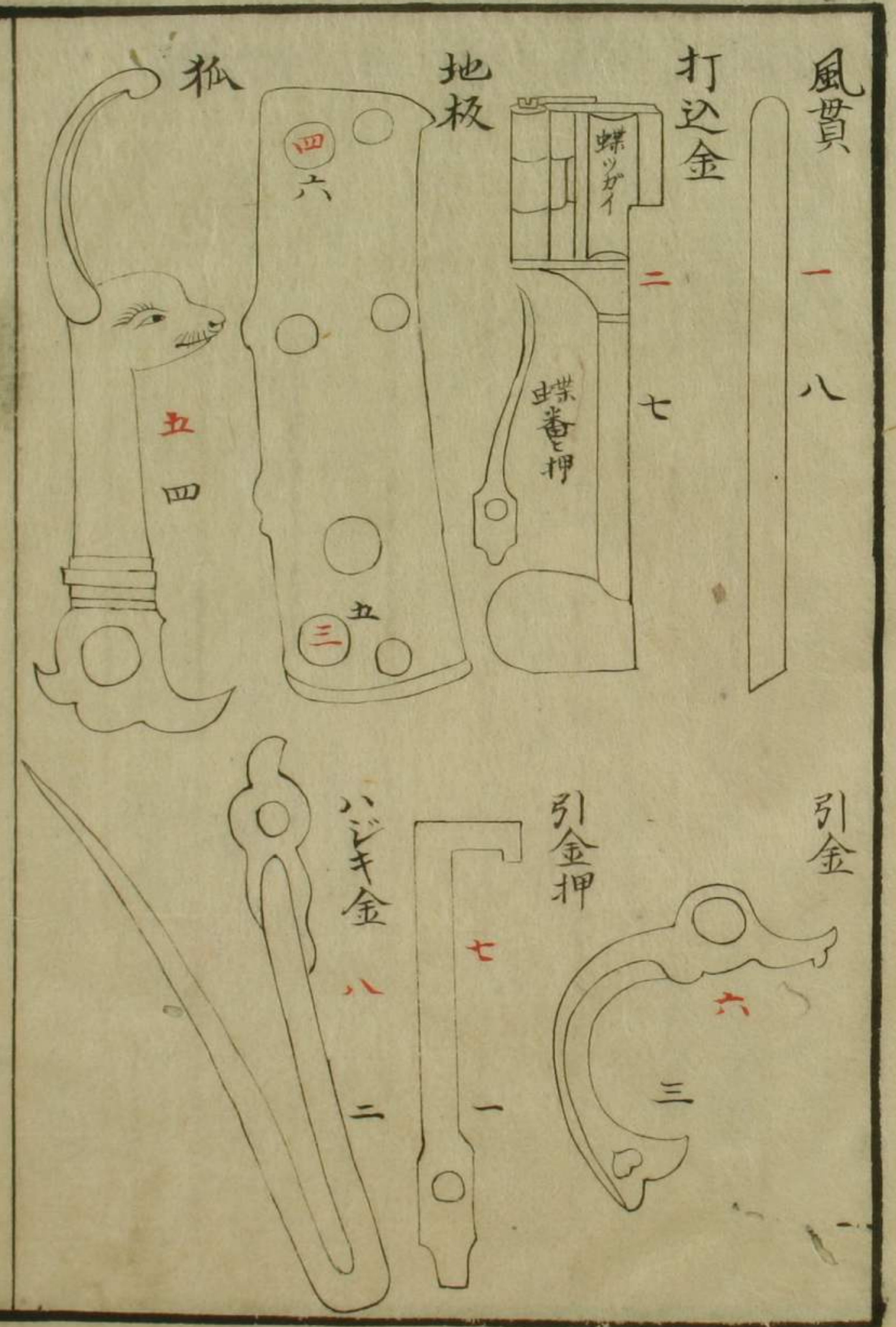


諸侯乃建邦 駐師好者甘敵出在焉 此及試三 狹葉條必夜念過
 出兼仕壹度風 込玉敷十四五度打 杉一才板位進 貫壹時暗ハ保
 清貴自然多子モ 兼ハ何分一 壹夜位ハ保ハ而テ 正方難答ト
 壹夜支仕色モ 或内海板法ヲ 夫仕申 試ハ一 壹夜ハ何
 子網多ク 等止リ夫ハ 粒又粒ニ 夫仕高射ニ 而モ十日丹位
 ハ 子網ニ 等止リ中 其奈ハ 未申試ハ 清貴何テ 日ニ兼同
 別ニ事ト 奉 齊 粒進ク 考出兼 工片ト 兼存ハ

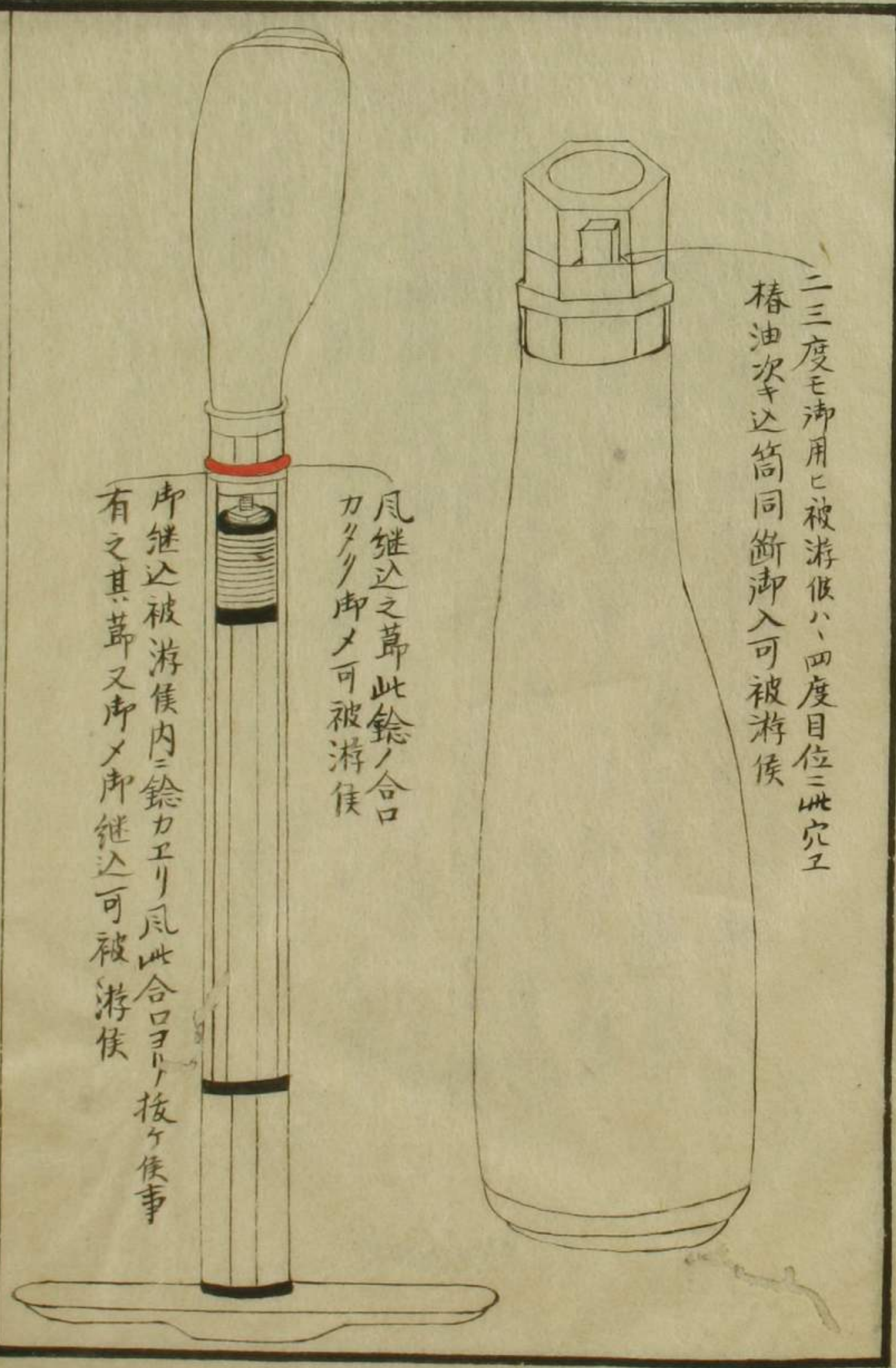
道具異名并取介ニ番附

朱ハシクミノ番付
 墨ハハツシノ番付



ハレキ令ハ初ニ燒ヲ入密管ヲ摺拭ケテ其後ニ爲至リハ損シハ儀成
 難年皆由打止拵ノ最斗由拭ヲ拵カ錢炮ノ大校火
 繩ヲ拭ケルハ因極ノ由由拵ノ拵
 一風ヲ不込リルムダニ孤ヲ由拭ケ由打止拵ヲ拵儀是ト大
 要支風ヲ由込ヲ拵ルモカモサワリニ相中事ハ風
 ナニニカラ落シニ拵ルハ孤ノ裏ノ如地板ノ由打止拵其不
 マカリ由由打止拵然ガハ不拵ルハ由打止拵其不
 由打止拵ノ拵

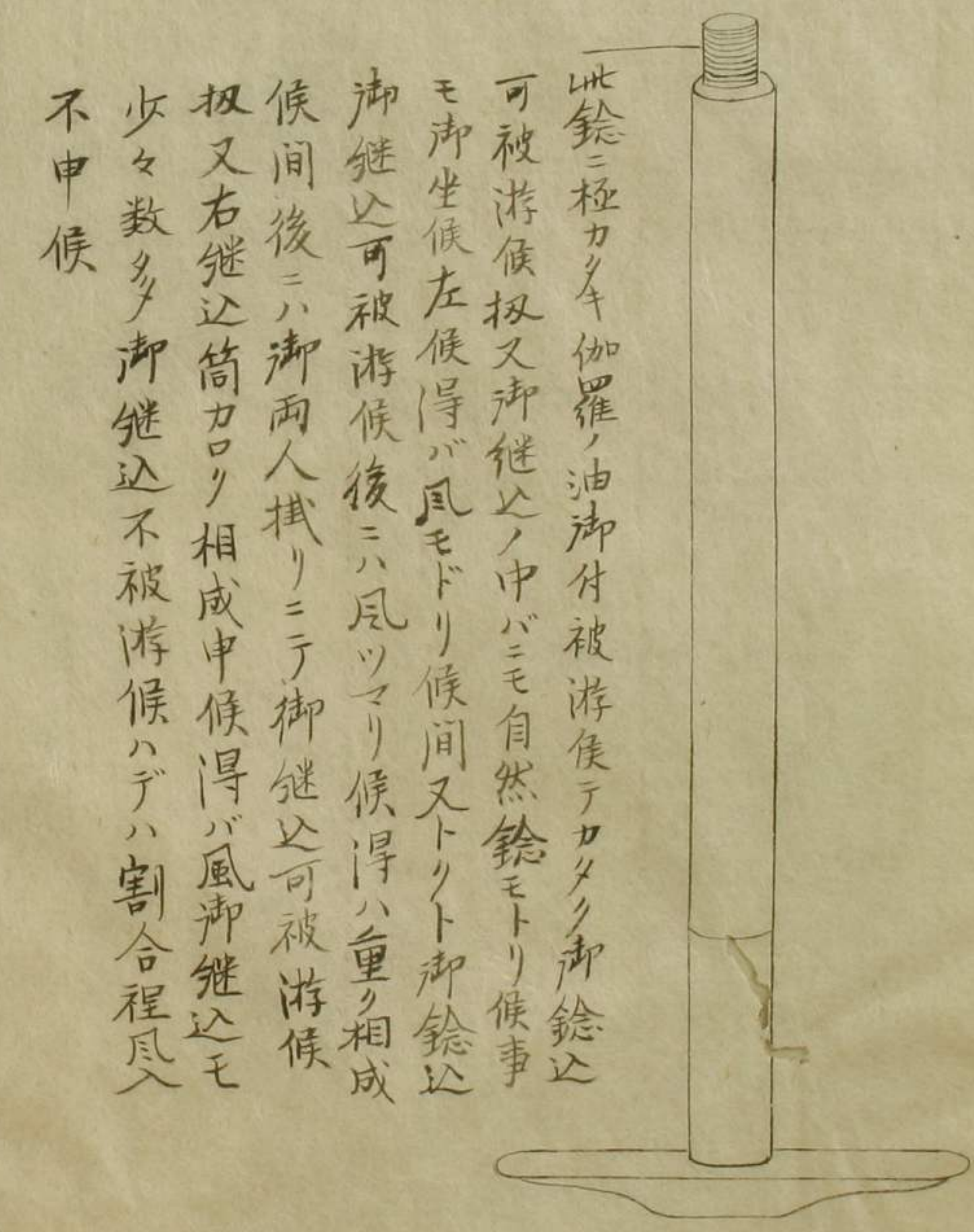
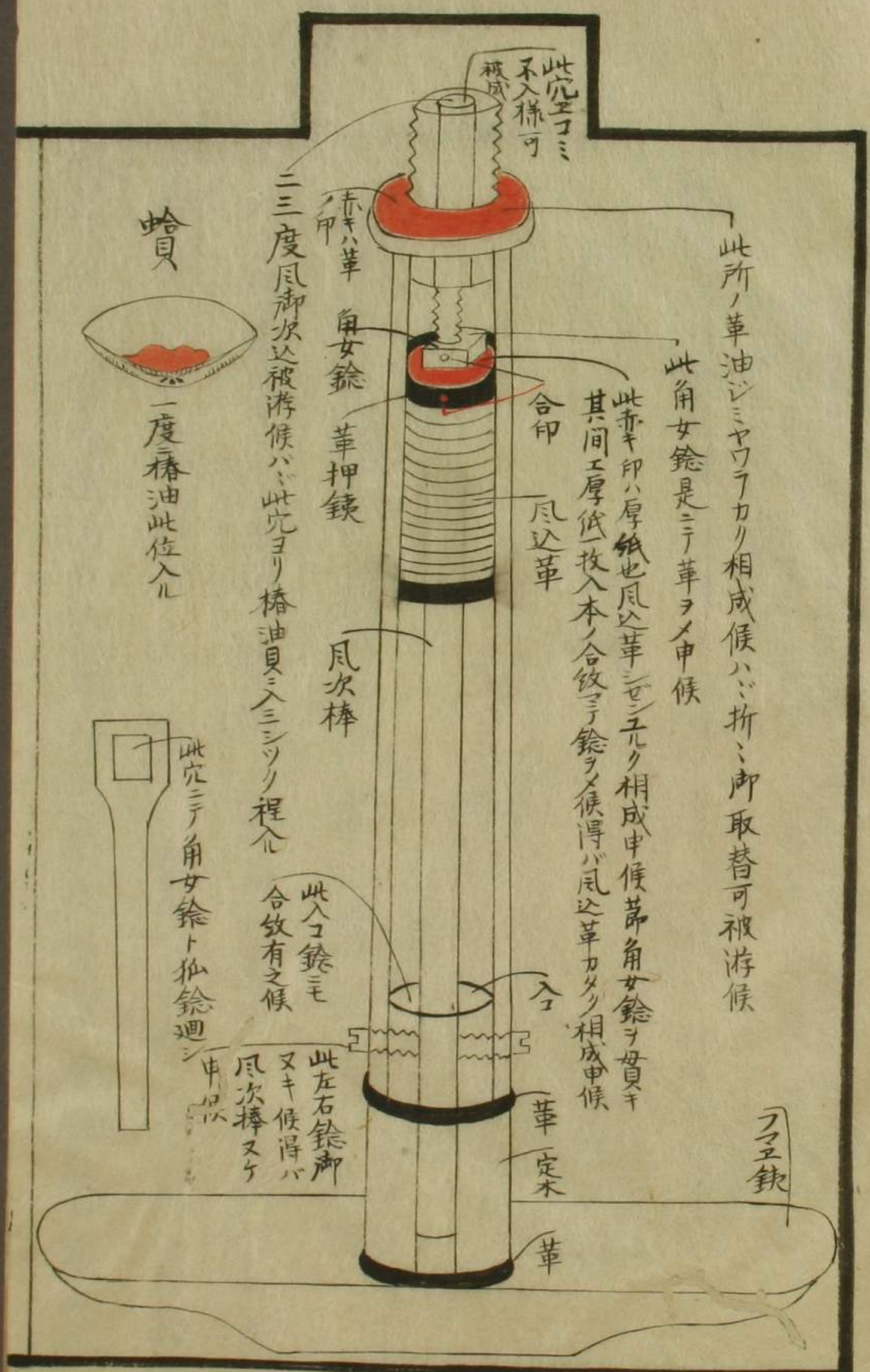
風繼込之拵之圖



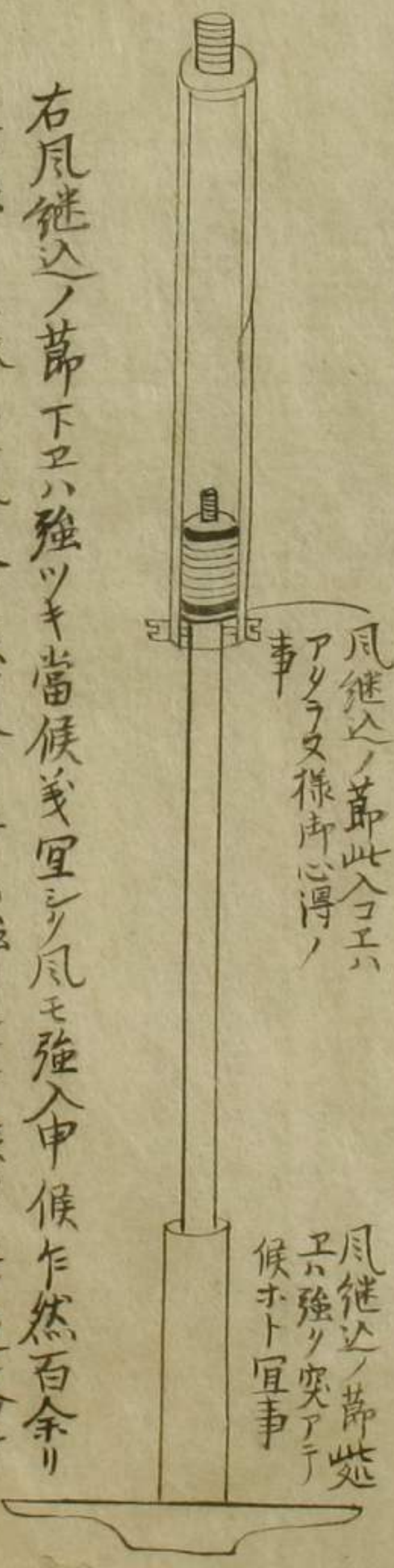
二三度モ沖用ヒ被游儀ハ、四度目位ニ此穴工
 椿油次キ込筒同斷沖入可被游儀

風繼込之拵此餘ノ合口
 カタク脚メ可被游儀

脚繼込被游儀内ニ餘カエリ風此合口ヨリ拵ケ儀事
 有之其拵又脚メ脚繼込可被游儀



右足は筒形を用ふに其柄は此に任ずるに風継棒に
 事は座より其柄太し油の筒の海は入るに其柄の
 下地は通ずるに其柄の油の筒の海は入るに其柄の
 油は用ひ其柄の油の筒の海は入るに其柄の



風継込ノ葦此入コエ
 アツク又様所心得ノ
 事

風継込ノ葦
 工六強ク突アテ
 候ホト宜事

右風継込ノ葦下エハ強ツキ當候義宜シク風モ強入申候乍然百餘リ
 迄ハ強アテス候テ宜風モ入申候百餘ニ至テハ強引下ケ候ハテハ下迄落舟
 不申候間風モ入不申候右加減座候引上ケ候葦ハ強ク引上候テハ
 入コエ強クアツリ入コノ銚損シ申候間引上ケ候葦ハ入コエ強クアツ

風袋ニ風継込之圖

ラ又程ノ処宜座候是ハ継込モ却手馴被游候得ハ當ラヌ
 様程ヨリ加減出来申候

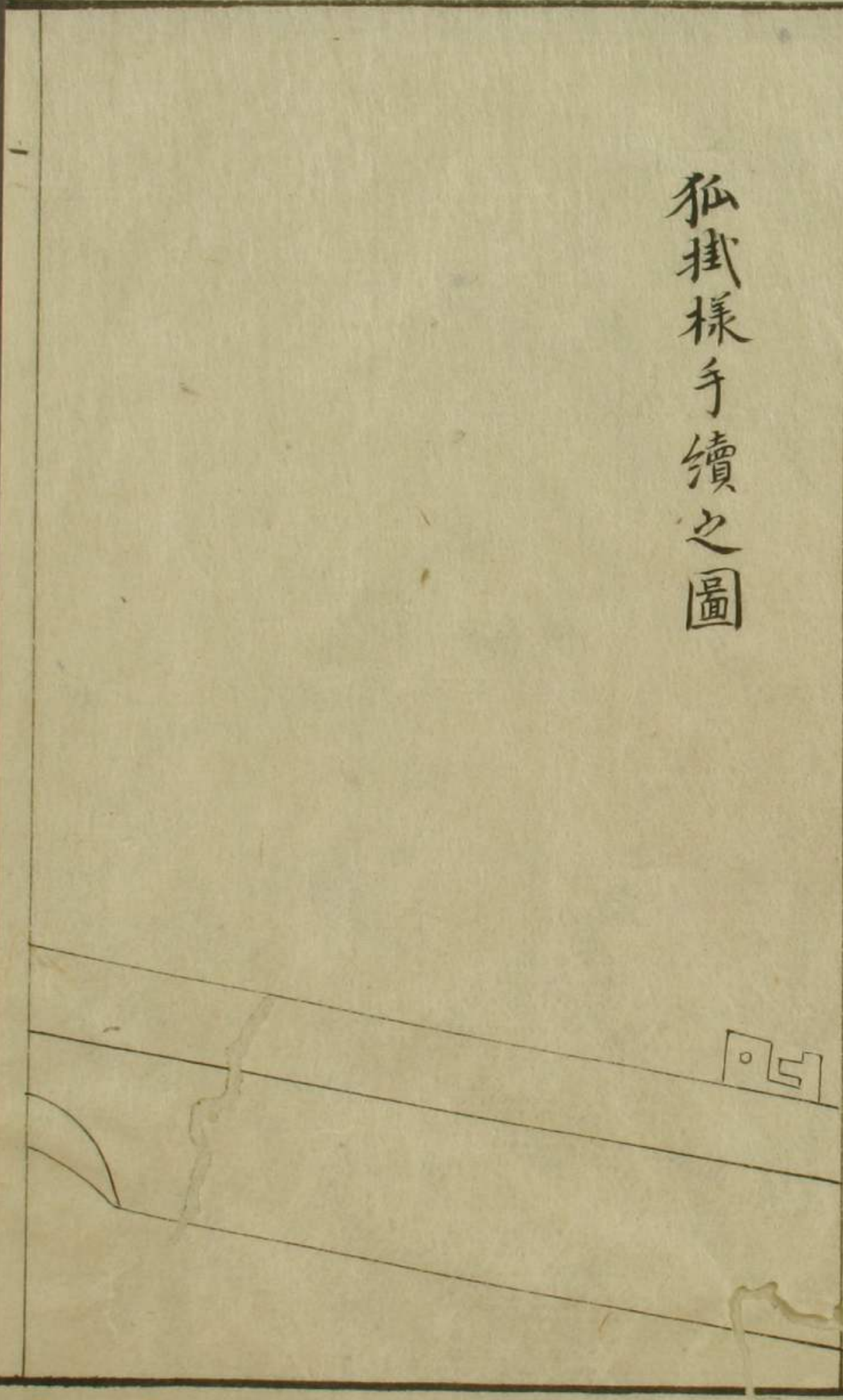


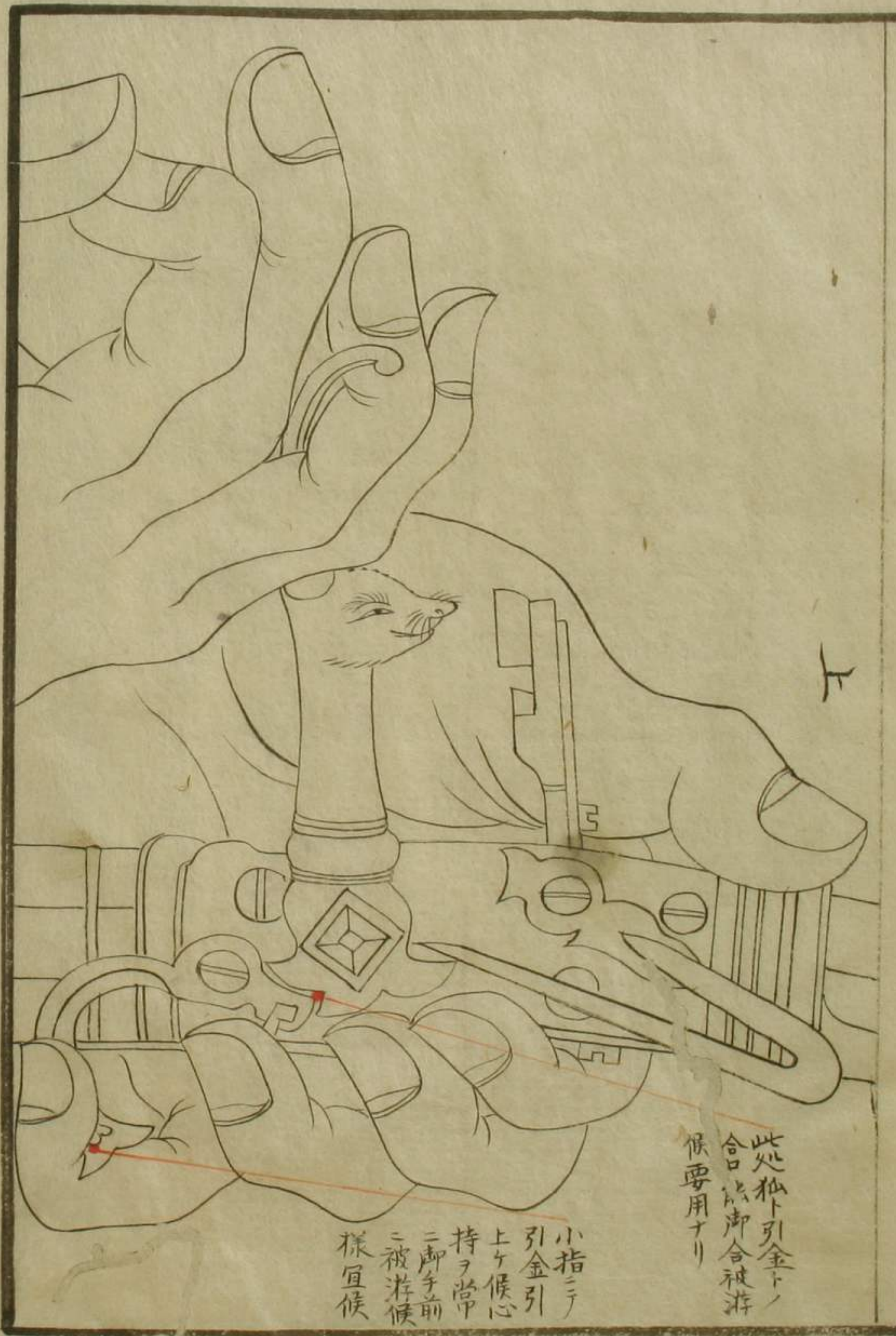
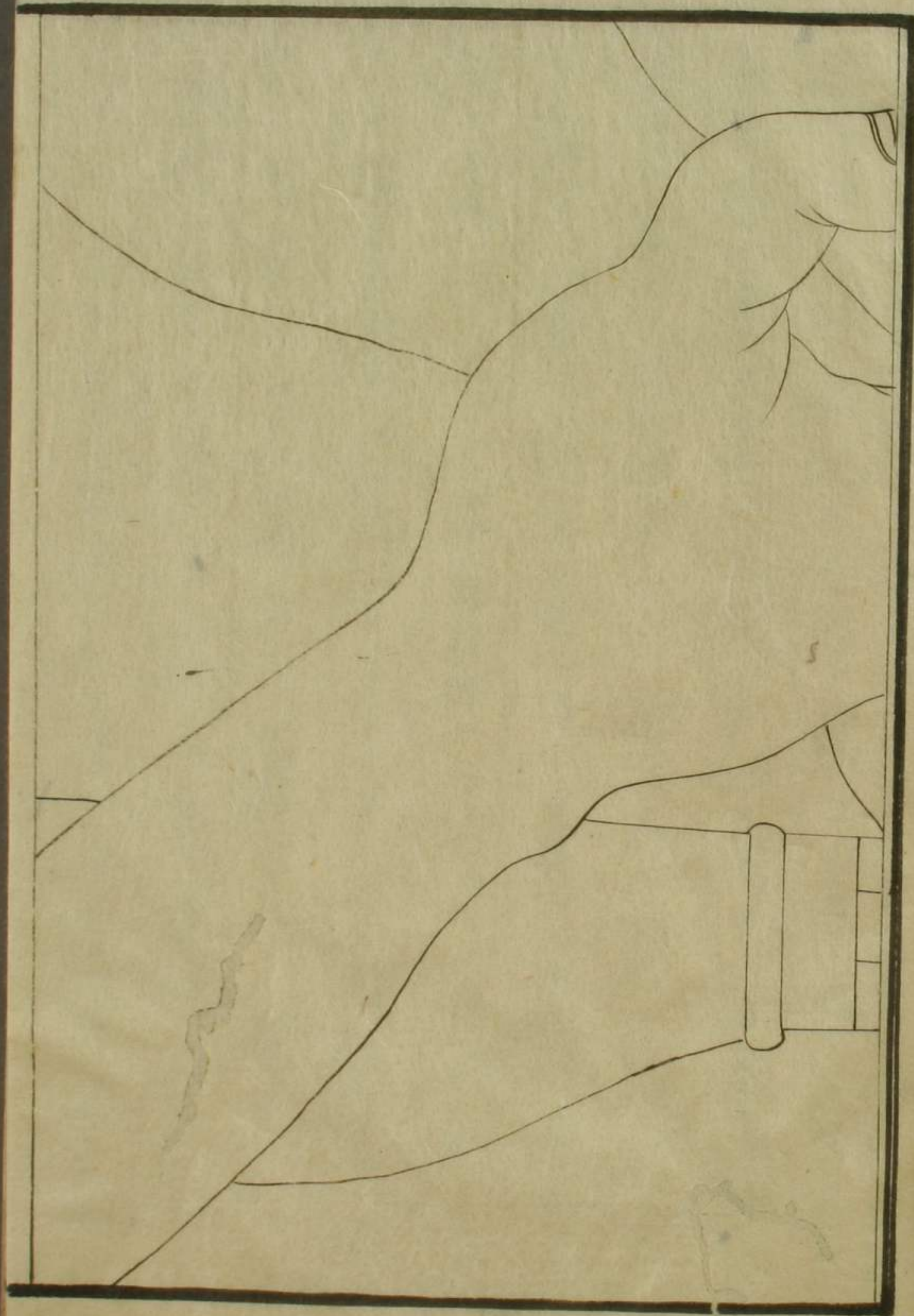
上ル時ハ静ニ却上ケテ上ル時ハ強ク却下
 成タケ静ニ却継込被游候得ハ格別ニ
 御骨折レ不申候

右之通ニ仕風凡二百卒分三百位繼込尤繼込筒アツク相
 成り得や移体筒サメテ又此繼込ニ仕公坊を治成中
 尤筒アツク相成重ク相成り風ツツリハ重ク相成り又
 之アツク成内ニ油カワキハ重ク成山移体ハ又
 華ニシニ込油ウキ出ル存ニ海カロク成風二三百繼
 込ハ得や風ツツリ又重ク成山移体ハ程強ク成山
 甚如減ハ少減ノ上相分出尤視令ニ繼合甚風急ニ鏡
 ノ内ノ油能ヌクハ取此繼込ニ仕公坊ハ
 右ノ通ニ風ツツ込相成り得や洞屋ヲ繼鏡施ヲ繼込込

狐ヲ引金ヲ掛テ透見込歩放可程仕公坊掛様并透見込在圖六

狐掛様手續之圖

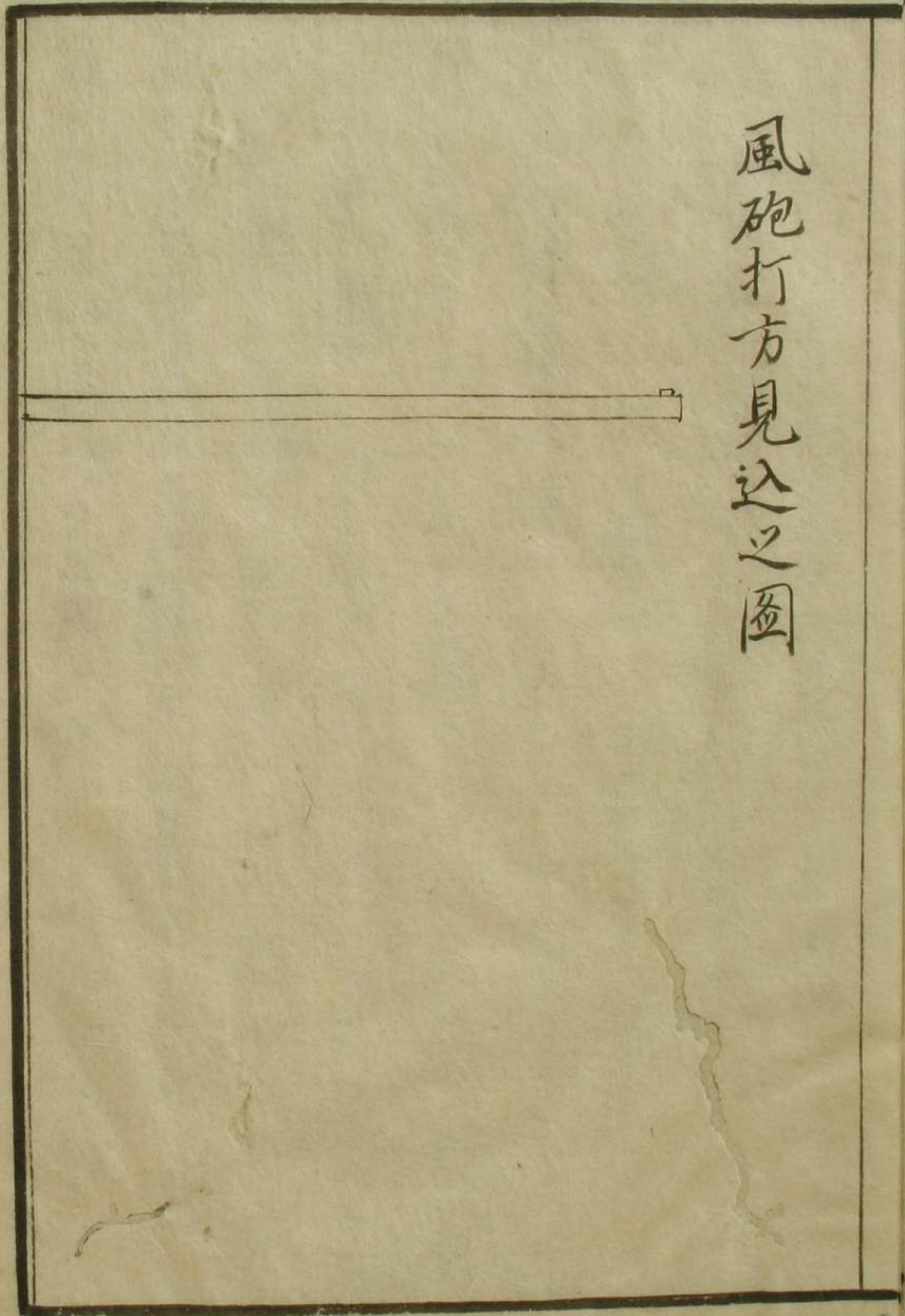




此処狐引金下ノ
合口は御合被游
候要用ナリ

小指ニテ
引金引
上ケ候心
持テ常
ニ脚手前
ニ被游候
様宜候

風砲打方見込之圖



風袋ノ底肩_二游_レ付_レ被_レ游_レ候_ハ
筒ノキマリ_ハ匣_ニシ_テ候



如此引金_ノ下_ニ指_テ御_レ撰_レ被_レ
游_レ候_ハ得_ル格_別ニ引_テ輕_ク引_申候

右に塩を手にし、手にて石物を拵む。以て器具を鑿出さし、其
所は手入に註す。蓋は石鑿施す。菓中の手入に不及し、
左折に菓中し、石拵む。拵む方々要し、不毛は任年、蓋を
蓋は金を以て拵む。切し、蓋は拵む。蓋は方々要し、
一銅金地板仕拵む。蓋は金を以て拵む。蓋は方々要し、自然
蓋は金を以て拵む。蓋は方々要し、蓋は方々要し、
蓋は自然拵む。蓋は方々要し、蓋は方々要し、
一私に給む。自然拵む。蓋は方々要し、蓋は方々要し、
折は蓋を以て拵む。蓋は方々要し、蓋は方々要し、

一風袋を拵む。蓋は方々要し、蓋は方々要し、
右に外拵む。蓋は方々要し、蓋は方々要し、
蓋は方々要し、蓋は方々要し、蓋は方々要し、
文政庚辰夏月 水友藤兵衛能成記

